

# 誌上相談室 Q&A

【テーマ】

## ビッグデータを手軽に活用! RESASのご紹介



「うちの街に、こんな強みがあったんだ!」。よく知っていると思っていた自分の街でも、客観的なデータを見てみると、意外な発見が得られることがあります。観光客が伸び悩んでいる、基幹産業が縮小している…。そんな地域の課題を解決するヒントが、ビッグデータの中に隠されているかもしれません。今回は、さまざまなビッグデータを「見える化」するシステム、「RESAS」をご紹介します。

### 1. RESASとは?

Q1 RESASとは何ですか?

A 2015年に国が提供を開始した「地域経済分析システム」の通称です。「Regional Economy Society Analyzing System」の、それぞれの頭文字を取ってRESAS（リースス）と呼びます。RESASはウェブ上に公開されており、一部機能を除いて、どなたでも利用できます。

Q2 RESASのビッグデータにはどのようなものがあるのですか?

A 国勢調査、経済センサス、人口動態調査等の「国が保有するデータ」と、携帯電話の位置情報データ、クレジットカード利用データ等の「民間企業が保有するデータ」で構成されています。

Q3 ビッグデータの「見える化」とはどういうことですか?

A データを、図やグラフで分かりやすく表示することです。条件を選ぶだけで、すぐに自動で図やグラフが作成されるので、データを視覚的に捉えることができます。

Q4 利用方法を教えてください。

A インターネット環境があれば、どこでも利用できます。検索サイトで「RESAS」と検索してください。利用が推奨されているブラウザは「インターネット Explorer11」です。また、タブレットやスマートフォンでも利用可能です。

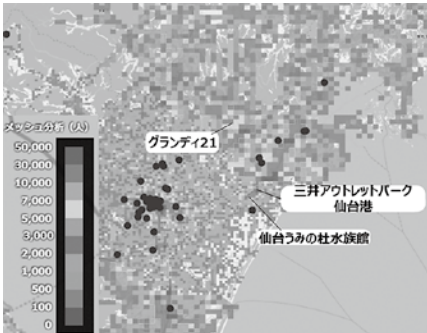
### 2. RESASでできること

Q5 RESASで何を把握することができますか?

A RESASには、①人口マップ、②地域経済循環マップ、③産業構造マップ、④企業活動マップ、⑤観光マップ、⑥まちづくりマップ、⑦雇用/医療/福祉マップ、⑧地方財政マップの8つのマップがあります。

例えば、まちづくりマップを利用すれば、地域内のどこに人が多く集まっているのか（流動人口）を把握することができます。また、月別・時間帯別に変化を見ることが出来ます。

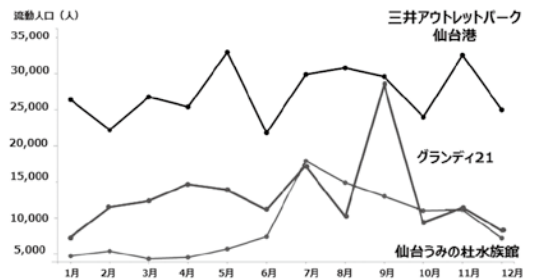
図は、2015年8月の休日における、仙台近郊の流動人口データです。例えば、グランディ21、三井アウトレットパーク仙台港、仙台商みの杜水族館などの周辺に、流動人口が多いことを示す「メッシュ」が表示されています。さらに、この3地点の流動人口を折れ線グラフで表示すると、8月は三井アウトレットパーク周辺が最も多いことが分かります。一方、仙台商みの杜水族館周辺は、2015年7月の開業直後に流動人口が急増しています。



このように、人の集まり度合いをデータで見ることができ、イベントを実施する場所や時期、営業時間の設定などに役立つことができます。流動人口以外にも、RESASには81種類のデータが搭載されており、使い方が次第でさまざまな分析が可能です。

### 3. 活用にあたって

経済産業省東北経済産業局では、RESASの活用に関してアドバイスやサポートを行う専門職員を配置しています。RESASの活用にあたりご不明な点があれば、当局までお気軽にご相談ください。また、当局のホームページに、RESASの活用に関するさまざまな情報を掲載していますので、あわせてご覧ください。



業時間の設定などに役立つことができます。流動人口以外にも、RESASには81種類のデータが搭載されており、使い方が次第でさまざまな分析が可能です。

### 【回答】

経済産業省東北経済産業局  
地域経済分析システム普及活用支援調査員  
写真左から、佐々木利彦氏、  
齋藤貴博氏、成田俊氏

